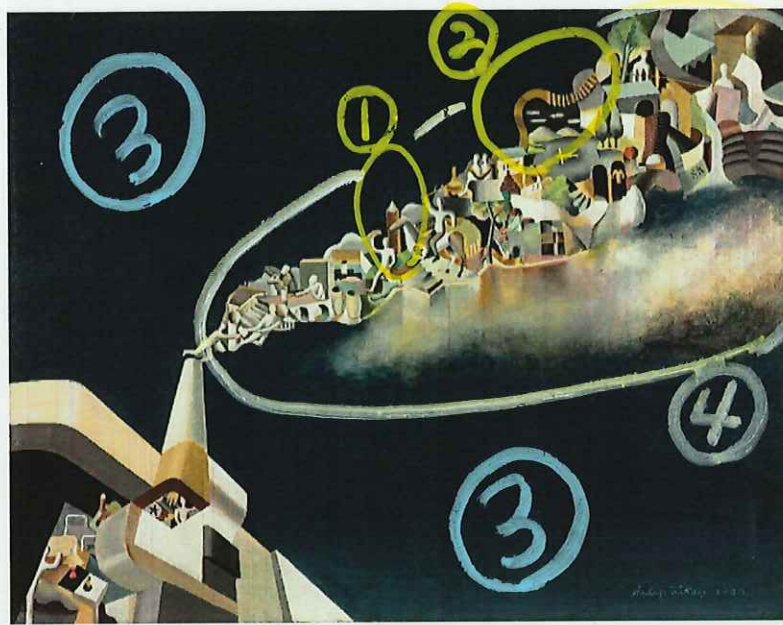


—和歌山県立近代美術館の「名品コレクション展」を鑑賞して—
私は作品をこのように見ましたので、解説をしたいと思います。

和歌山県立和歌山ろう学校 中学部 3年 ()



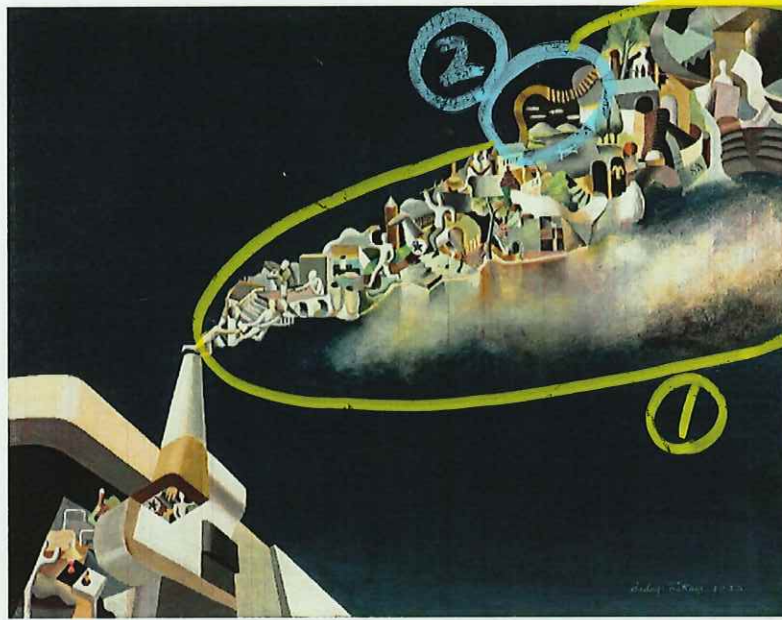
最初見た時はお葬式に見えました。煙突から火煙がもくもくと上がっていて、その中に人がたくさんいたからです。絵をよく見ると①の部分は、茶色の色とその形から、鉛筆だと思いました。左下を見ると机があります。そこに鉛筆が置いてあって、それが燃えて煙になっています。だからその鉛筆を使っていた子は、死んだのだと思います。

②の部分は、銀色で段々の形から、階段だと思いました。階段のおもちゃで、それを使って子どもが遊んでいた。だけど、火煙になっているという事は、その子は死んだのだと思いました。

③の部分は、黒色から、夜だと思いました。④の部分は、煙の中に白い人がたくさんいるので、こわい煙突だと思いました。全体的に見て、夜にお葬式をしているのを、カメラで写真を撮っているように思いました。カラフルでふしぎなお葬式だと思いました。それもおもちゃ、人が火煙突からたくさん出ているので、こわい煙突だと思いました。

—和歌山県立近代美術館の「名品コレクション展」を鑑賞して—
私は作品をこのように見ましたので、解説をしたいと思います。

和歌山県立和歌山ろう学校 中学部 2年 ()



最初に見たときは、煙があるから工場に見えました。

そして、糸田かく見ていくと、

①の部分は煙の部分がカラフルな色だから夢の形だと思
いました。また②の部分は、一番上の高いところにあるし、

茶色の色からお台だと思ひました。①、②をあわせてみると、

全体的な色や形やイメージから遊園地?と思ひました。

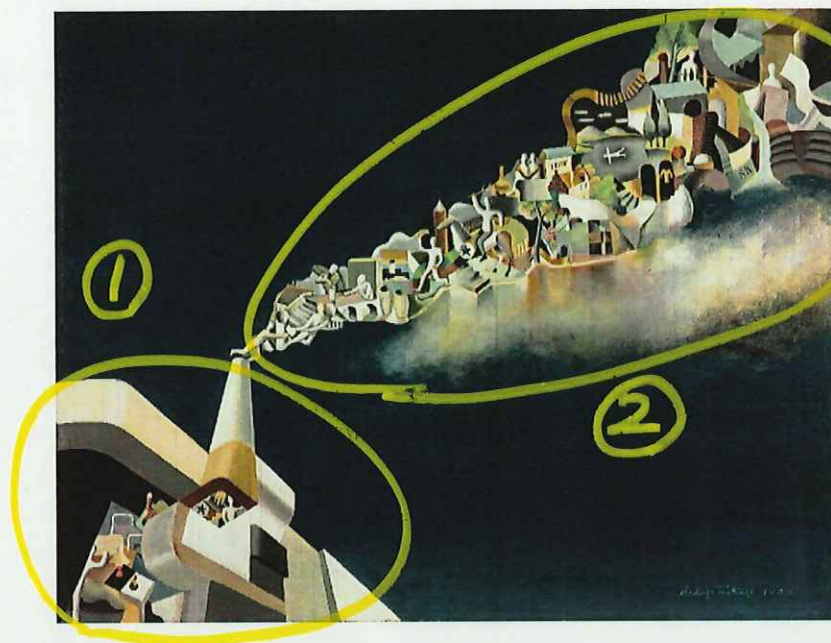
よく見てみると、はじめは工場だと思ひていましたが、

部分を糸田かく見ていくと、なんとなく遊園地に

見えってきました。

—和歌山県立近代美術館の「名品コレクション展」を鑑賞して—
私は作品をこのように見ましたので、解説をしたいと思います。

和歌山県立和歌山ろう学校 中学部 2年 ()



最初に見た時は、煙突から煙みたいなのが出ているから、工場に見えました。

よく見てみると、①の部分は、火煙突の形から家だと思いました。

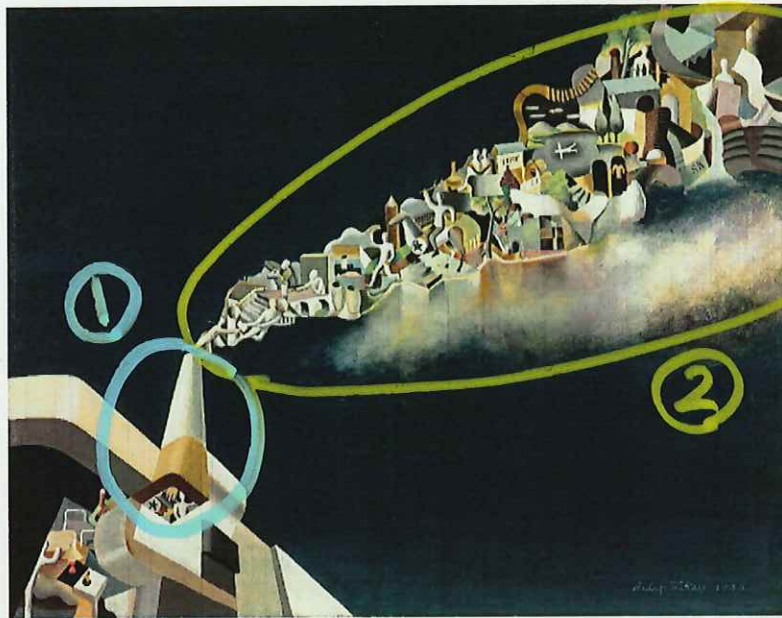
②の部分は、形から火煙だと思いました。でも、火煙だとつまらないから、

この絵を描いた人は、何か工場なのかなと思いました。

全体的に見て誰かが石の下にいて、そこから何かを燃やしている工場を
見上げている絵だと思いました。

—和歌山県立近代美術館の「名品コレクション展」を鑑賞して—
私は作品をこのように見ましたので、解説をしたいと思います。

和歌山県立和歌山ろう学校 中学部 2年 ()



最初に見たときは、たばこ煙に見えました。

どうしてそう思ったかという色と形が似ていたからです。

そして特に①の部分が目に入りました。

①の部分は、茶色からたばこの形だと思いました。

②の部分は白色から煙だと思いました。

そして、煙をよく見てみると人や物がたくさんあるので0歳から99歳までの人生を
表していてお葬式をしているように思いました。

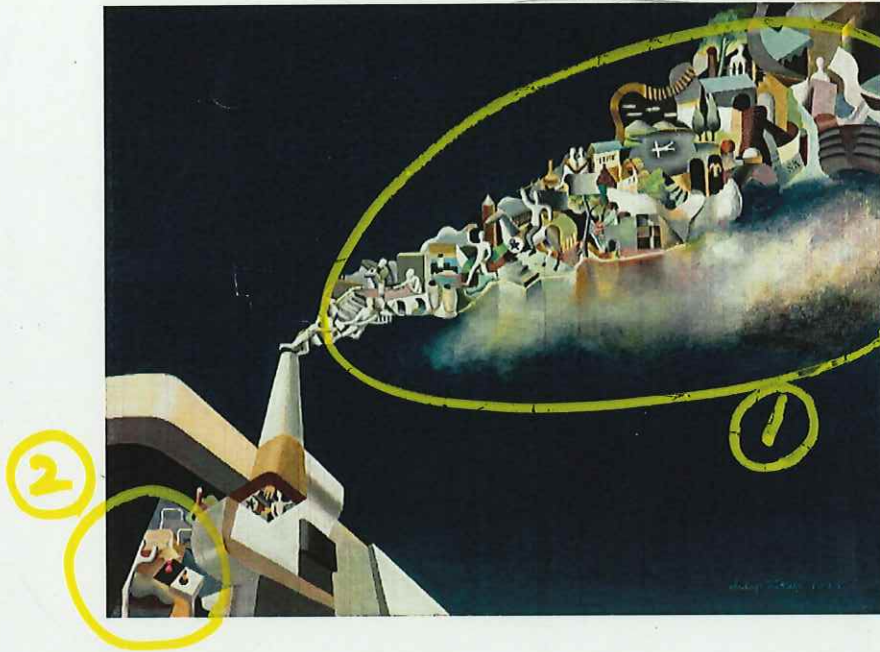
もしかするとたばこで肺ガンになって亡くなったのかもしれない。

そんなことも含まれている気がしました。

以上からたばこによる肺ガンで亡くなった物語と思いました。

—和歌山県立近代美術館の「名品コレクション展」を鑑賞して—
私は作品をこのように見ましたので、解説をしたいと思います。

和歌山県立和歌山ろう学校 中学部 2年 ()



この絵を最初に見たときは、死んだ人と死んだ人が使っていた物に見えました。

どうしてかというとき、白い人々ばかりが見えたからです。

①の部分は白い人が死んだ人で、ほかのところは死んだ人があんなに経験したことだと思
いました。

②の部分は、今死んだ人から見え方お世にならぬところだと思いました。

全体的に見て、やはり死んだ人と死んだ人が使っていた物に見えます。

—和歌山県立近代美術館の「名品コレクション展」を鑑賞して—
私は作品をこのように見ましたので、解説をしたいと思います。

和歌山県立和歌山ろう学校 中学部 3年 ()



最初に見たときは、地図に見えました。

絵の右側の部分は、家やお店を表していて、左側の部分は
スポーツ場を表していると思いました。

詳しく見ると①の部分は黒色と四角の形から、家がたくさんある
と思いました。

②の部分は、黄色で形が大きいから、店だと思いました。

③の部分は、中心をとりかこんでいるまわりの部分は青色で、その部
分が大きいから、海だと思いました。

全体的に見て、パノラマのようになって空から世界の町をみている
と思いました。

—和歌山県立近代美術館の「名品コレクション展」を鑑賞して—
私は作品をこのように見ましたので、解説をしたいと思います。

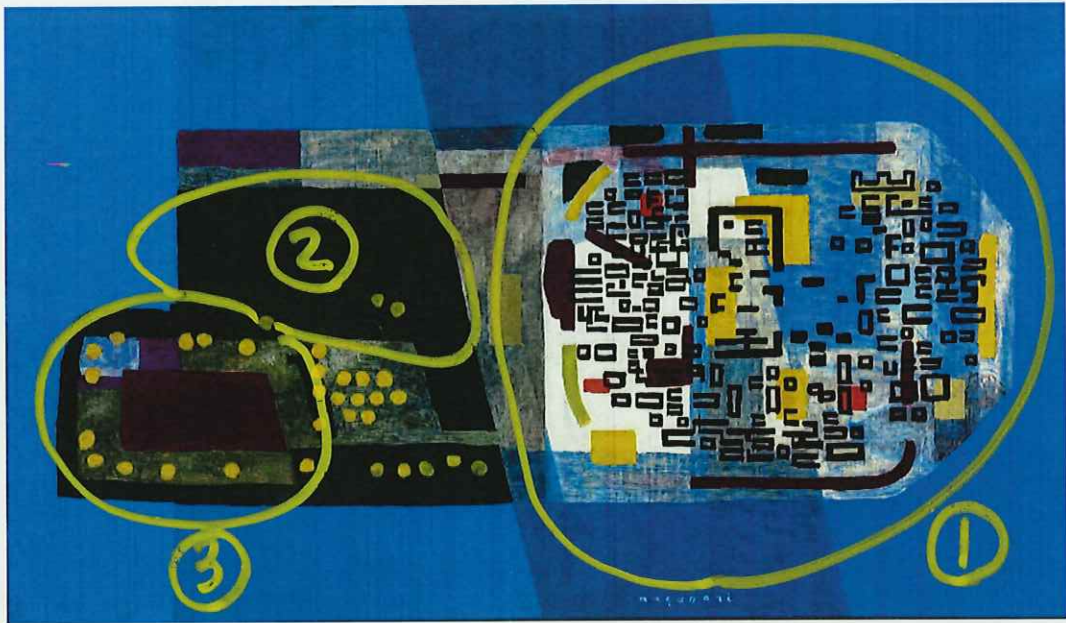
和歌山県立和歌山ろう学校 中学部 2年 ()



最初に見たときは形がロケットに似ているから、ロケットに見えました。
そして、糸田かきみていくと、①の部分は、黄色の色から、家に電気がついて
いるんだと思いました。そして、②の部分は、黒と四角い形から、迷路だと思
いました。□は行き止まりを表していて、口は入っていけないし、糸結構：難しい
迷路だと思います。そして、③の部分は、緑色で広い形から、①の部分の家の
外側の中庭だと思います。はじめはロケットに見えていたけど、よく見てみる
と、形からロケットにも見えるのでロケットの中に、家と庭と迷路があると思
いました。そして、又、よく見てみると、ロケットの中身は家と庭ではなくてゴミにも
見えてきます。将来、くさいガスが入りそう、□口などいろんな形があるから、
いつかまぼろいでいく。よく見ていくと本当に色々なものが見えてきます。

—和歌山県立近代美術館の「名品コレクション展」を鑑賞して—
私は作品をこのように見ましたので、解説をしたいと思います。

和歌山県立和歌山ろう学校 中学部 2年 ()



最初見たときは、形がロケットに似ているからロケットのホテルに見えました。

①の部分をよく見ると黒の四角の部屋がいくつかいだから学校のようなと思いました。

②の部分は緑の色と広い形から、運動場のようなと思いました。

③の部分赤色の四角と緑の線がかいているから陸上のトラックのようなと思いました。

色々考えていくとやはり、ロケットのホテルというよりロケットの学校があって敷地全体をあらわしていると思えてきました。

—和歌山県立近代美術館の「名品コレクション展」を鑑賞して—
私は作品をこのように見ましたので、解説をしたいと思います。

和歌山県立和歌山ろう学校 中学部 2年 ()



この絵を最初に見たときは、何の絵かわかりませんでした。

でも、黒いところを見て、彦良かなと思いました。

また、絵の全体の形から、車かなと思いました。

その車は実は、タイヤが壊れていて、先頭の部分からライトの光がでるのかなと思いました。

そして、青い海に沈んでいくのかなと思いました。